

視察・講義

✓1日目

ミタパープ病院 視察

✓2日目

救急医療講義

ビエンチャンレスキュー 視察

✓3日目

災害医療講義

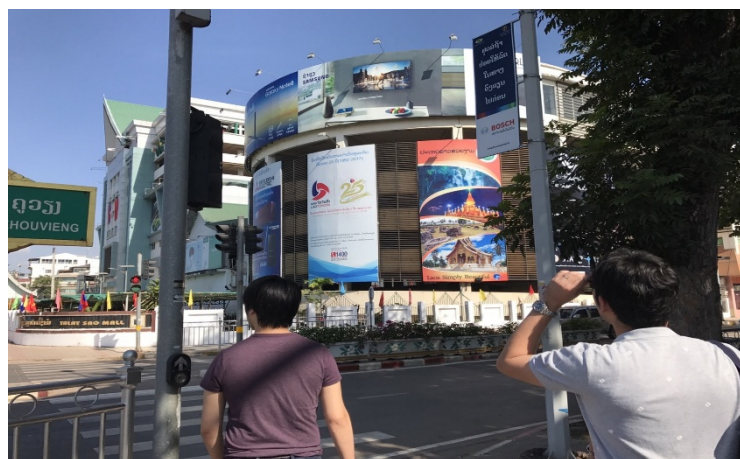
参加人数(16名)

医師:13名

事務:1名

薬剤師:1名

看護師:1名



ミタパープ病院



病床数	250床
Doctor specialist	57名
general	70名
Nurse	127名
Pharmacist	14名

2.5.1 中央病院3施設の機能分担の現状と課題

ビエンチャン特別市における疾病対応の概況を示す。

2015年現在、進みつつある中央病院3施設の間での機能分化は以下の通りである。

病院名	内科系救急疾患	内科系非救急疾患	外科系救急疾患	外科系非救急疾患
マホソット	心血管疾患	高血圧 糖尿病の一部	腹部外科	消化器癌の 外科的治療
ミタパープ	緊急透析疾患		外傷治療 整形外科 脳神経外科	脳腫瘍や脊椎腫瘍の外科的治療
セタティラート		感染症 閉塞性肺疾患 造血器腫瘍		胆石や腎結石 の良性外科治療

救急外来処置室

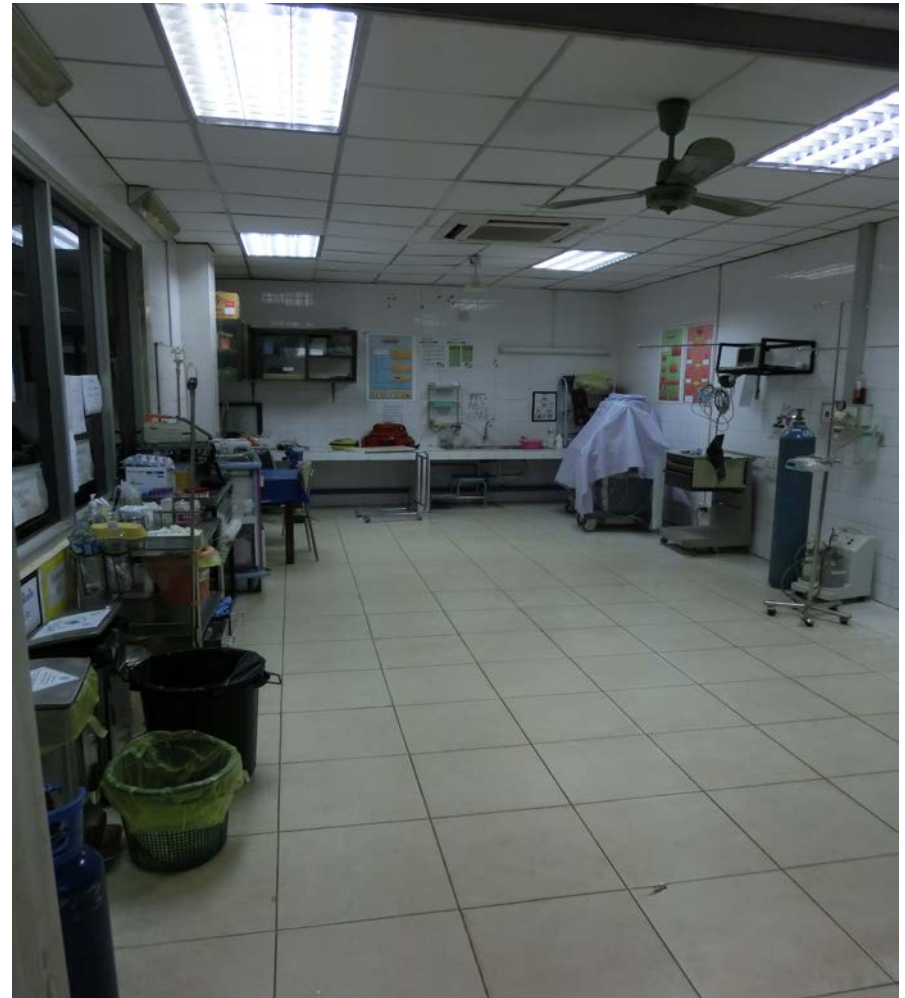


棚には、医薬品、採血スピッツなどが常備されていた

初療室・透析室



ラオス国内唯一の透析室



心肺停止 (CPA) の治療アルゴリズムなど治療法が壁に貼付されている

ICU病棟

ベット: 16床
ベットサイドモニター: 10台
人工呼吸器: 11台



モニターおよびシリンジポンプな集中治療が実施できる環境であった

薬品棚



医薬品は最低限の保管であり、医薬品は処方せんにより使用されるとのこと

処方せん 薬局(院内)

ໂຮງໝໍມິຕະພາບ
MITTAPHAB HOSPITAL
Vientiane Lao PDR

ຊື່ແລະ ນາມສະກຸນ..... ວັນເດືອນປີເກີດ.....
ອາຊີບ..... ບອນຢູ່.....
ມະຕິພະຍາດ.....
ລາຄາ.....

ວັນທີ.....ເດືອນ.....ປີ..... ວັນທີ.....ເດືອນ.....ປີ.....
ລາຍເຊັນການຢາ ລາຍເຊັນແພດ



処方せんは患者が薬局まで持参し、調剤される

ビエンチャンレスキュー

ボランティア救急団体

✓ ラオスには国営の救急団体はない



Emergency and Disaster medicine Seminar in Laos



12月4日参加

参加人数 (人)	33
職種	
医師	17 (52%)
医師 (Resident)	16 (48%)
経験年数 (年)	3 [1-19]

救急医療

- ✓ CPA(BLS/ACLS)
- ✓ 外傷
- ✓ 敗血症

12月5日参加

参加人数 (人)	32
職種	
薬剤師	2 (6%)
看護師	2 (6%)
学生	28(88%)
医学部	22 (67%)
薬学部	3 (9%)
看護学部	3 (9%)

災害医療

- ✓ トリアージ
- ✓ CSCATTT



外觀 門前藥局

日本と同様に病院の近隣には調剤薬局が多数あり、
医薬分業がされていると思われる

